

「むすびえ・こども食堂基金」第2回助成 応募申請書

記入日:2020年5月14日

適宜、入力スペースを調整していただいて構いません。ただし、申請書は、可能な限り4ページ以内におさまるようお書きください。

1. 連絡先(第1回助成で申請いただいている場合は、団体名のみでOK)

ふりがな 団体名 (法人の場合、法人格から)	えぬびーおーほうじんぜんこくこどもしょくどうしえんせんたー・むすびえ NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ		
ふりがな 代表者名	ゆあさ まこと 湯浅 誠		
団体の事務所 所在地(連絡先) ※個人宅の場合、 必ず「気付」等 の明記をお願いします。	〒151-0053 東京都渋谷区代々木二丁目12番2号こども食堂ネットワーク内		
	TEL 03-4213-4295	FAX	
	E-mail (PC) kodomo@musubie.org		
	URL https://musubie.org/news/2191/		
担当者	氏名 三島理恵	E-mail(PC) mishima@musubie.org	
	TEL 03-4213-4295	携帯電話 080-9452-2171	

・HP や facebook ページがある方は、上記 URL の欄に記載ください。ない場合は、無記入で構いません。
 ・事務局からメール添付で資料などを送らせていただく場合があるため、メールアドレスは、**携帯電話のアドレスでなく、PC メールアドレスをご入力ください。**

2. 団体の概要(第1回助成で申請いただいている場合は、不要)

設立年月	西暦 2018 年 12 月	主な活動地域	東京都
団体設立の経緯	ボランティア活動として急増するこども食堂を支え、こども食堂を通じて、誰も取りこぼさない社会を実現させるために、設立した。		
あてはまるもの全てにチェック→ 現在までの 通常活動の内容 ※具体的な活動内容もご 記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> こども食堂としての活動実績あり <input type="checkbox"/> コロナ対策支援を機にこども食堂を新設 <input checked="" type="checkbox"/> こども食堂 <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 学童保育 <input type="checkbox"/> こどもの居場所 <input checked="" type="checkbox"/> その他()		
団体の規模 (事業費、会員、 ボランティア数等) ※今年度の会員・ボラン ティア実績は、直近の 月末実績をご記入下さ い。 ※「会員数」には賛助会 員なども含みます。		2019 年度 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)	2018 年度 (2018 年 4 月～ 2019 年 3 月)
	年間総事業費	約 200 万円	約 180 万円
	ボランティア数	40 人	40 人
	会員数	10 人 1 団体	10 人 1 団体
	活動頻度	1 回/月・週	1 回/月・週
	利用者数 (1回あたり平均)	約 50 人	約 50 人

新設の団体の場合は、団体の規模に関しては、事業計画内容をご記入ください。

3. 申請事業の概要(活動内容)

応募コース ※あてはまるコースを1つだけチェックしてください。	(いずれか1つのみ) <input checked="" type="checkbox"/> Aコース: 今日をしのご <input type="checkbox"/> Bコース: 明日をひらく <input type="checkbox"/> Cコース: ひとり親支援	← チェック漏れ確認
事業名	むすびえ食堂 フードパントリー緊急支援事業	← 実施する事業の名称を記載
事業内容 (利用者や活動内容の特色をご記入下さい。)	※A・Cコース(500字程度)、Bコース(1000字程度)でご記入ください。 ※地域・社会の状況や課題、その状況に対して実施する活動内容、具体的な事業の計画、それにより期待される成果や目指していることなどを簡潔にご記入ください。また、明らかになっている数値、人数などあれば記載をお願いいたします。 ※Bコースの場合、生活相談の内容・実績について詳しくご記入ください。 ※Cコースの場合、参加者に占めるひとり親家庭の割合についてご記入ください。 地域で老若男女みんなが交流する地域交流拠点として、2018年12月より開始し、毎月1回開催で、これまでに24回開催し、のべ1200人が参加している。 新型コロナウイルスの影響下、2月より通常の食堂は開催できていないが、日頃から繋がる保護者から給食がなくなり、日々の子どもの食事の用意等に伴う食費増による困りごとの相談を受け、4月から緊急対策として食品を配布するフードパントリーを実施した。日頃から寄付をしてくれている企業や農家などに呼びかけ、食料品の提供を受けて用意したが100人分の食料に対し、130人の方が来場され不足が出た。利用者は、未就学児および小学生の子育て世帯が多く、学校休校や幼保の登園自粛の影響で日頃からこども食堂を利用する家庭以外にも多くのニーズがあると推察され、また、開催を重ねるたびに来場者数が増えており、継続的な緊急支援が急務である。 また、フードパントリーを行うためには、レトルト食品やお米などの確保が必要不可欠で、全てを寄付で賄えず、持ち出し資金により食材などを調達しているため、団体の支出が重なっている状況。 食支援が必要な子ども、世帯に食材を届けるために、月二回のフードパントリーを開催する。 さらに、コロナ禍における緊急支援としてのフードパントリーで新たに繋がった家庭に対しても、通常のこども食堂が開催されるようになったら、開催の案内を送り、より地域に根ざした居場所、地域住民の交流拠点としてのこども食堂の役割を担っていく。それにより、地域において、取りこぼされかねない子どもや世帯に、食と、居場所、つながりを提供し、寄り添っていく。 フードパントリー開催予定日: 6/1、6/20、7/5、7/25、8/10 利用者数(想定): 650人(のべ)	
助成対象期間中の支援対象者数(予定)	総計 650名(1回あたり130名(うち子ども80名)×5回) (Cコースのみ: うち、ひとり親家庭 世帯)	
予定実施期間 (開催回数、支援対象者数など。助成事業期間内の事業を記載。)	(助成対象期間は9月30日までです) 期間: 6月1日 ~ 8月10日 開催回数: 5日	← 助成事業実施機関の確認
助成申請額 (助成申請額の上限と、本申請書の予算に記載されている金額を確認してください。)	(上限はA20万円、B200万円、C50万円です) 20万円	← 申請コース上限金額の確認

4. 過去の実績

活動内容	いつから	頻度 or 回数	1回あたり参加人数 ※総数 名(うちスタッフ 名、子ども 名)
こども食堂	2018年12月	毎月1回	50名(うちス5名、子35名、保護者10名)
フードパントリー (食材・弁当配布)	2020年4月	月2回	140名(うちス10名、子80名、保護者50名)
宅食(食材等配達)	年月		↑学生ボランティアスタッフも、スタッフに含めてください。
その他	年月		

5. 主な協力団体・協力者(特になければ記入不要)

団体名、氏名、役職など	事業実施上の役割
フードバンクむすびえ	食料品の提供
むすびえ福祉協議会	広報発信、開催における助言

※協力を得られる外部団体や外部協力者の状況について記入してください。

6. これまで受けた助成金・行政補助金(委託)・企業寄付など(※新しいものから3件)

助成金・補助金または委託事業名称	企業名又は行政機関名	交付金額	交付年
ゆあさ基金	ゆあさ財団	100,000	2020

7. 申請事業予算についてご記入ください。(※金額は、半角数字にて記載)

自己資金(寄付、会費、事業収入等。自己資金の内訳は不要です。総額を記載ください。)		合計金額のみ記載 →	86,000
他助成金、補助金		100,000	
	チェック漏れ確認 →	<input type="checkbox"/> 申請中 <input checked="" type="checkbox"/> 助成決定 <input type="checkbox"/> 助成事業実施中	
その他			
本基金		助成金充当金額との一致の確認 →	★200,000
合計		合計金額の確認 →	386,000 円

※ 収入の「本基金」と支出の「助成金充当額 合計」は同額になるよう記載してください(★)。

	費目 (費目内訳例に記載の費目を参考に、記載ください)	事業総予算額 (本基金も含む実施事業の予算総額を記載ください。)	助成金充当額 (本基金も含む実施事業の予算総額のうち、本基金にて充当する額を記載ください。)	内容 (項目、単価、算出根拠など、出来るだけ具体的に記載ください。)
支出の部	食材購入費	325,000	145,000	@500 円×130 セット×5 回(レトルト食品、即席スープなど)
	ボランティア等謝金	45,000	45,000	3000 円×3 人(コアボランティア)×5 回
	消耗品	10,000	10,000	ビニール袋(650 人分)、アルコール製剤、A4用紙、模造紙など
	旅費交通費	6,000	0	事前食材調達のためのガソリン代 2000 円×3 人
	合計	386,000 円	★ 200,000 円	内容には、具体的に算出根拠を記載ください。費目の記載は不要です。

※B コースの場合「子どもを支える」関連費用に✓を入れ、その総額が申請額の 50%を超えるよう記入してください。

費目内訳例:

食材・弁当等購入費	事業に必要な食材・弁当等の購入費用
人件費	スタッフ人件費
謝金	ボランティア等謝金
会場費	会場使用料
交通費	交通費、ガソリン代
消耗品費	包装材、消毒剤等消耗品
印刷製本費	チラシやパンフレット類の印刷費、コピー代等
通信運搬費	郵送料、電話代、インターネット接続代等
会議費	会議開催費(茶菓代は、1人1回300円程度まで)

書類チェックリスト:

- ・本応募書類のすべての必要事項に記入した
- ・連絡先はPCのメールアドレスを記載した
- ・メールアドレスが間違っていないか、再度確認した
- ・申請するコースを1つだけ選択した
- ・助成対象期間や上限金額を正しく記載した
- ・「支出の部」の「内容」を項目・単価など具体的に記載した
- ・★印の金額が同一になっている
- ・(Bのみ)「子どもを支える」関連費用にチェックを入れ、申請費用の50%以上になっている
- ・(Bのみ)生活相談の内容や実績について正しく記載した
- ・(Cのみ)参加者・利用者に占めるひとり親家庭の割合について記載した

本応募書類以外(Bコース、Cコース)

- ・(B、C共通)会則または定款を採択確定後に提出することを了解した
- ・(Bのみ)生活相談シートの中身を確認した
- ・(Bのみ)助成金交付契約書の中身を確認し、内容を理解した

最後まで入力できたら、必ず見返してください。

●特に多かった単純な誤りなど

団体名、メールアドレス(連絡が付きません)、金額の単位、助成金申請金額の合計